

関係者各位

中央労働災害防止協会
令和4年 7月19日

当協会センター主催の研修会受講者における新型コロナウイルスPCR検査陽性反応の判明について

当協会が運営に当たっております東京安全衛生教育センター(東京都清瀬市)(※)が主催した研修会に関し、複数名の受講者について新型コロナウイルスPCR検査陽性反応が判明いたしましたので、お知らせいたします。

当該受講者は7月11日(月)～7月15日(金)に開催された特別コースの研修会(受講者は、全員が特定企業所属)に参加し、新型コロナウイルスPCR検査を受け、16日(土)に陽性反応が出ました。

研修の実施にあたっては、全ての受講者に対し検温を行い、マスクやフェイスシールドを着用するとともに、教室では2人掛け机を1人掛けにして座るなどして1m以上の間隔を空けた上で、毎回研修後に研修室の消毒を行うなど、感染予防対策を徹底しております(https://www.jisha.or.jp/tshec/pdf/corona_yobou_tshec.pdf)。

現在、同期間開催の他の研修において体調不良を訴える受講者はおらず、これらを踏まえ、当センターでの研修は、予定通り実施することとしております。

当協会では、研修をはじめとする各種事業に際しまして、徹底した感染予防対策を講じておりますが、今後、従来に増して感染防止に万全を尽くしてまいります。

※東京安全衛生教育センターは、労働安全衛生法第63条に基づき、労働災害や職業性疾病の防止のために、労働安全衛生に関する指導者や専門家を養成することを目的として1973(昭和48)年に労働省(現:厚生労働省)により設立され、中央労働災害防止協会がその運営に当たっております。

中央労働災害防止協会(中災防)

	理事長	竹越 徹
【担 当】	総務部長	溝口 進
	同 次長	杉田 修康
	総務部総務課長	柴田 千鶴
(電話)03-3452-6073	(Eメール)	somu@jisha.or.jp